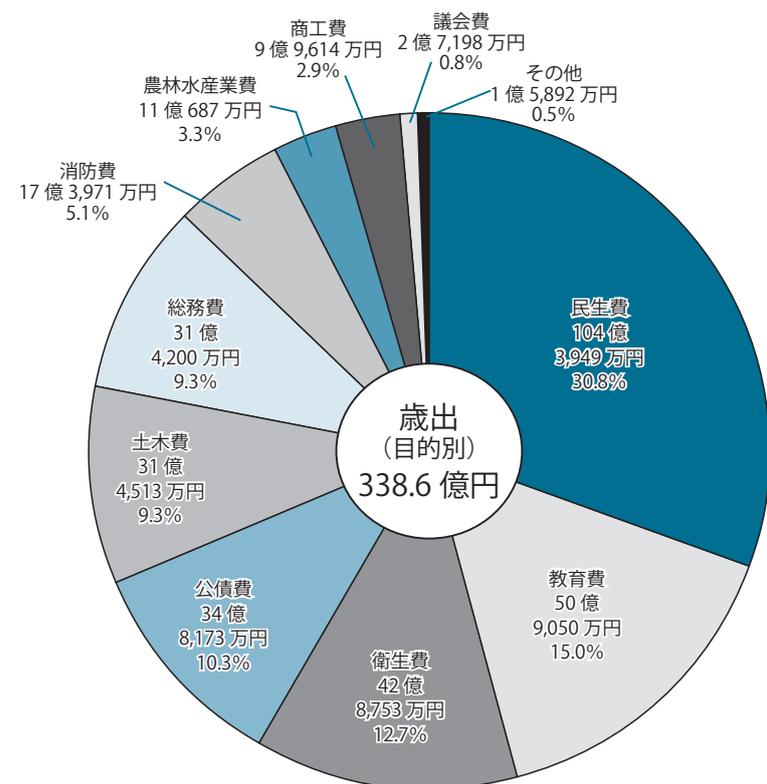
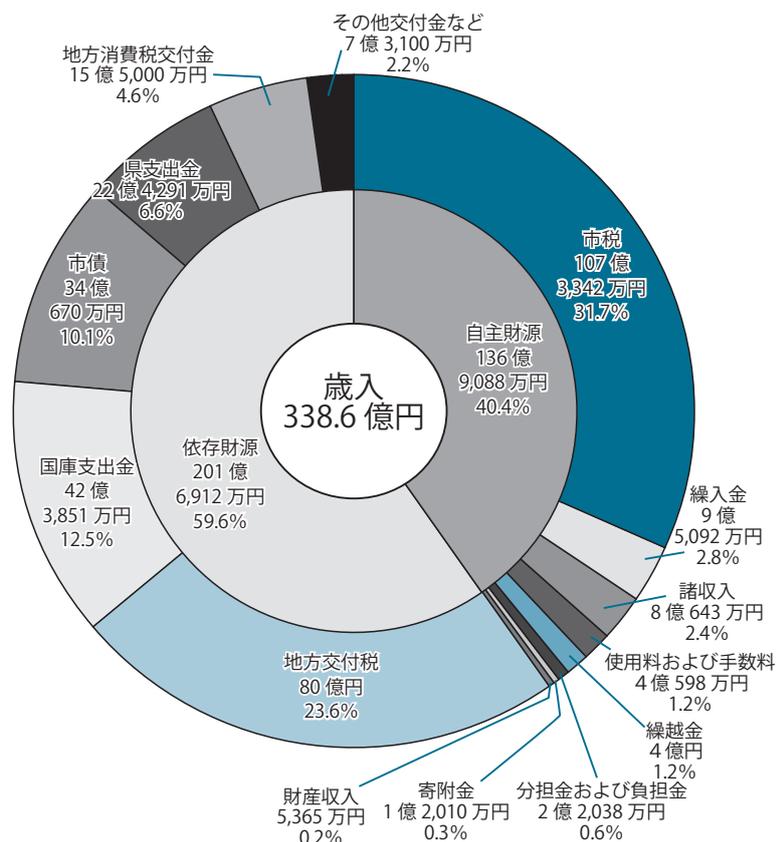
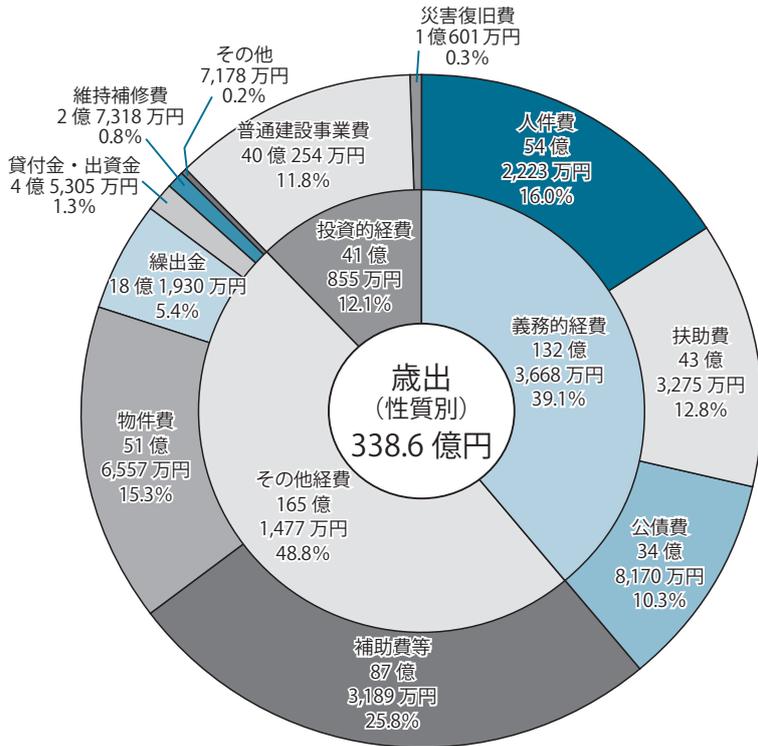


## 令和2年度当初予算の概要 『先憂後楽明るい未来創生予算』を編成！

令和2年度は大田原中学校校舎増改築事業や広域クリーンセンター大田原、共同一般廃棄物最終処分場の整備事業がピークを迎える年であるとともに、令和元年に発生した台風被害による災害復旧事業など、投資的経費が増加したことにより、予算規模は前年度と比較して6.6%増の338億6千万円となりました。

歳入は、広域クリーンセンター大田原事業分の影響により、震災復興特別交付税が増額となることや、大田原中学校校舎増改築事業などの実施に伴い、市債の大幅な増額を見込んでおりますが、今後は、合併による加算措置の縮減に伴う普通交付税の減など、厳しい状況が続くことが予想されるため、全事業の見直しを行い、予算の効率的な配分に努めました。



### 用語解説

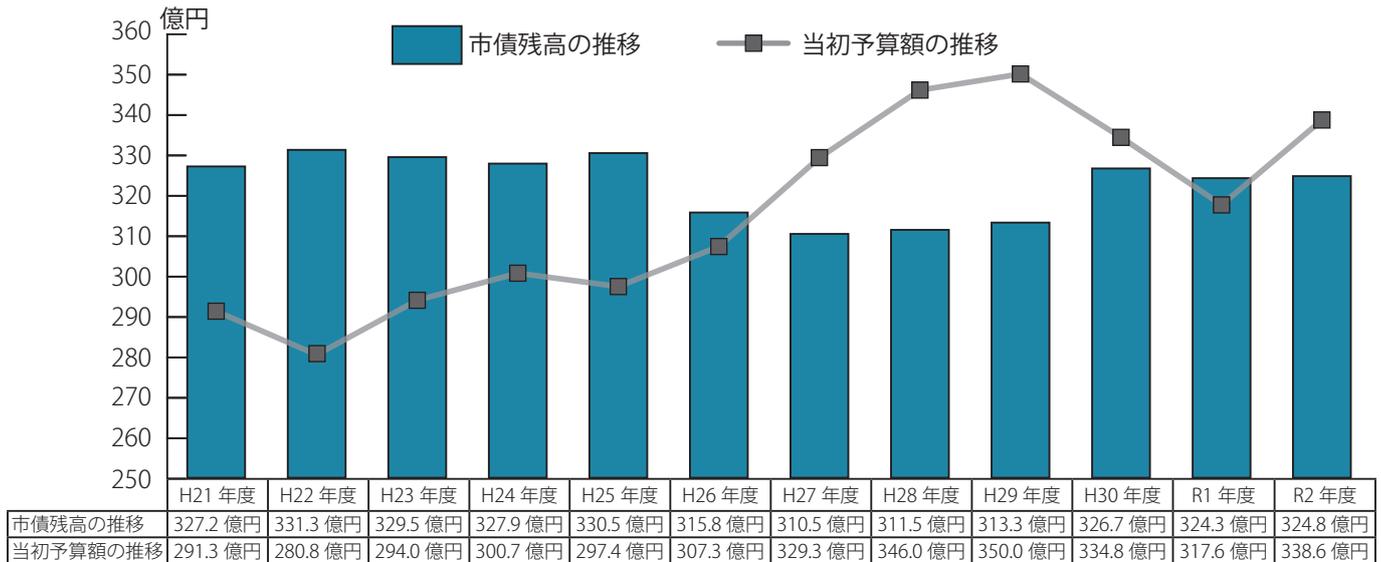
#### 【歳入】

自主財源…市が自ら収入する財源  
 依存財源…国や県などから交付されたり、割り当てられたりする財源  
 市税…市民税、固定資産税、軽自動車税など、市に納めていただく税金  
 繰入金…他会計や基金（預金）などから一般会計に繰り入れする資金  
 繰越金…前年度の余剰金など  
 財産収入…市の財産の貸し付けや売り払いによる収入  
 地方交付税…市の財政が一定水準を維持できるよう、国から交付されるもの  
 市債…公共施設の建設などのために、国や金融機関から借り入れるお金

#### 【歳出（性質別）】

人件費…市長、市議会議員などの報酬や一般職員の給料など  
 扶助費…生活保護、児童福祉、高齢者福祉など要援助者に支出する経費  
 公債費…借り入れをした元金や利子の償還金  
 普通建設事業費…道路、学校、公共施設等の建設経費など  
 災害復旧費…災害を受けた施設等を復旧するための経費  
 補助費等…各種団体などへの負担金や補助金、報償金など  
 物件費…消耗品費、光熱水費、委託料、使用料など  
 繰入金…一般会計から特別会計や企業会計へ支出される経費  
 貸付金・出資金…各種団体などへの貸付金、出資金  
 維持補修費…施設維持のための補修費  
 予備費…使途を特定しないで計上し、不測の事態に対応するための経費  
 積立金…各種積立金

## ■一般会計の当初予算額と市債残高の推移



※市債残高は、平成30年度までは決算額、令和1年度は見込額、令和2年度は当初予算額です。

## ■特別会計・企業会計

特別会計は、前年度と比較して20億9,400万円の減額となりました。減額の主な要因として、下水道事業、農業集落排水事業特別会計が地方公営企業法を適用する企業会計へ移行したこと、子育て支援券特別会計において平成29年度で子育て支援券の発行が終了したことによる予算規模の縮小などがあげられます。

企業会計は、前年度と比較して32億2,150万円の増額となりました。増額の主な要因は、水道事業会計において大田原市水道事業施設整備基本計画事業費(水道管敷設工事費等)が増額したこと、下水道事業会計の新設に伴う増額となります。

特別会計	当初予算額	前年度比
国民健康保険事業費	79億2,800万円	3.2%減
介護保険	75億1,900万円	5.4%増
子育て支援券	3,050万円	51.7%減
後期高齢者医療	7億4,790万円	5.3%増
須賀川財産区	120万円	14.3%減

企業会計	当初予算額	前年度比
水道事業	27億8,150万円	2.1%増
下水道事業	31億6,400万円	42.5%増

## ■地方消費税交付金が充てられる経費の状況

消費税及び地方消費税の税率が5%から引き上げられた分(2014.4に8%へ、2019.10に10%へ)の税収は、地方公共団体へ分配され、社会保障4経費(年金、医療、介護、子育て)やその他の社会保障施策に要する経費に充てられます。

本市の令和2年度の交付見込額は8億1,200万円で、充当予定は次のとおりです。

社会福祉費(障害者福祉、高齢者福祉、児童福祉、母子福祉、生活保護など)	3億620万円
社会保険費(国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療など)	4億2,260万円
保健衛生費(母子保健、妊産婦健康診査、地域医療、予防接種、健康診査など)	8,320万円

## よいち家・1ヵ月の家計簿 (羊)

家庭の家計と市の財政では、規模もお金の使い道も違うため、単純に比べることはできませんが、令和2年度一般会計当初予算(338.6億円)を、県内で平均的とされる年収480万円(1ヵ月あたり40万円)の世帯に例えてみました。

令和2年度は、広域クリーンセンター大田原や共同一般廃棄物最終処分場の整備事業に伴う那須地区広域行政事務組合への負担金が大きく増加したため、歳出の「知人への援助など(補助費など)」が増加し、歳入の「親からの援助(地方交付税・国県支出金など)」において、国からの震災復興特別交付税が増加しています。

また、大田原中学校校舎増改築事業が令和2年度にピークを迎えるため、歳出の「家・車などの修理・買い替え(普通建設事業費など)」が増加しており、歳入の「借金(市債)」も増加しています。

その他、下水道事業が地方公営企業法の適用となったことにより、「子どもたちへの仕送り(繰出金)」から「知人への援助など(補助費など)」に性質が変わったことなども、増減の要因となっています。

( )内は前年度比

入ってくるお金	合計 40万円(+1万円)
給料(市税)	12万7千円(△2千円)
パート収入(使用料など)	8千円(△1千円)
親からの仕送り (地方交付税・補助金など)	19万8千円(+1万7千円)
貯金の取り崩し(繰入金)	1万1千円(△4千円)
借金(市債)	4万円(+5千円)
その他	1万6千円(△5千円)

使うお金	合計 40万円(+1万円)
食費(人件費)	6万4千円(△1千円)
家族の医療費(扶助費)	5万1千円(△2千円)
ローンの返済(公債費)	4万1千円(△2千円)
光熱水費などの雑費(物件費など)	6万1千円(△1万2千円)
知人への援助費など(補助費など)	10万3千円(+2万6千円)
家・車などの修理・買い替え (普通建設事業費など)	5万2千円(+1万3千円)
子どもたちへの仕送り(繰出金)	2万2千円(△1万1千円)
貯金や知人への貸付など (貸付金・積立金など)	6千円(△1千円)

問財政課 本6階 TEL(23)8797